

令和6年度 博多区地域包括ケア推進会議

日時:令和6年11月26日(火)18時~19時半

場所:博多区役所5階 集団指導室

会議次第

I 開会

II 委員自己紹介

III 会長・副会長選出

IV 議題

- 1 福岡市の高齢化と地域包括ケアの推進
- 2 博多区高齢者に関わる統計等報告
- 3 博多区の認知症高齢者への取組み
- 4 博多区の高齢者の虐待防止・権利擁護に関する取組み
- 5 博多区の介護予防に関する取組み
- 6 その他の博多区取組み

令和6年度地域ケア会議の報告

- ・在宅医療・介護部会
- ・権利擁護部会
- ・生活支援・介護予防部会

V 意見交換

- ・委嘱委員(各所属団体)からの活動報告
- ・博多区取組みに関するご意見・ご提案等
- ・福岡市レベルで検討が必要と思われること
- ・その他

VI 閉会

○博多区地域包括ケア推進会議委員名簿

委嘱任期:令和6年7月~令和9年6月

団体	氏名	所属・役職等	
医師会代表	住吉 康平 委員	博多区医師会 会長(住吉クリニック院長) ※医師会伊勢川理事:在宅医療・介護部会長	新任
歯科医師会代表	加茂 公平 委員	博多区歯科医師会 会長(加茂歯科医院院長)	
薬剤師会代表	吉村 宏 委員	福岡市薬剤師会 会長(アコー調剤薬局)	新任
弁護士会代表	塩飽 梨栄 委員	福岡県弁護士会(福岡国際法律事務所) ※権利擁護部会長	新任
司法書士会代表	佐藤 直幸 委員	福岡県司法書士会(佐藤直幸司法書士事務所)	
自治協議会長連絡協議会代表	木下 波雄 委員	博多区自治協議会長連絡協議会 (月隈校区自治協議会会長)	新任
衛生連合会代表	石井 早苗 委員	博多区衛生連合会 会長 (弥生校区衛生連合会代表理事)	
民生委員児童委員協議会代表	岡部 敏治 委員	博多区民生委員児童委員協議会 会長	
社会福祉協議会代表	本郷 清志 委員	博多区社会福祉協議会会長(大浜校区社会福祉協議会会長) ※生活支援・介護予防部会長	
老人クラブ連合会代表	木原 正道 委員	博多区老人クラブ連合会 会長	
公民館館長会代表	松永 祐作 委員	博多区公民館館長会 (那珂南公民館長)	新任
認知症の人と家族の会 福岡県支部代表	大浦 香代子 委員	(社)認知症の人と家族の会 福岡県支部 世話人	
福岡市老人福祉施設協議会代表	中村 孝也 委員	博多区代表(アットホーム博多の森施設長)	新任
介護支援専門員ネットワーク代表	中村 広美 委員	ケアマネット博多 代表(ケアプランセンター太陽管理者)	新任
訪問看護ステーション連絡会代表	田崎 龍仁 委員	博多区訪問看護ステーション会 (訪問看護ステーション ぴ~す月隈代表)	新任
博多警察署代表	柴田 隆 委員	博多警察署 生活安全第1課長	
博多消防署代表	佐藤 英雄 委員	博多消防署 予防課長(兼務副署長)	
保健福祉センター長	平田 英明 委員	博多区保健福祉センター 所長	
博多区担当部長	園田 紀子 委員	保健医療局健康医療部長	

○事務局

所属	氏名	役職等	
地域保健福祉課	首藤 実千代	地域保健福祉課長	新
	今福 正二郎	地域福祉ネットワーク担当主査	
	木藤 弥生	権利擁護等担当主査	新
	藤戸 由美	地域保健福祉第1係長	新
	上田 里佳	地域包括ケア推進係長	
	坂口 裕美	地域包括ケア推進係	新

○地域包括支援センター

所属	氏名	役職等	
博多第1いきいきセンターふくおか	大森 裕之	管理者	
博多第2いきいきセンターふくおか	秋山 美穂	管理者	新
博多第3いきいきセンターふくおか	青木 洋	管理者	
博多第4いきいきセンターふくおか	高木 富士子	管理者	
博多第5いきいきセンターふくおか	岡崎 瞳	管理者	
博多第6いきいきセンターふくおか	日高 昌子	管理者	
博多第7いきいきセンターふくおか	佐野 純一	管理者	
博多第8いきいきセンターふくおか	村田 由美	管理者	

博多区地域包括ケア推進会議及び各専門部会参加メンバー

令和6年度

1. 博多区地域包括ケア推進会議委嘱委員および各専門部会所属団体

No.	機関・団体名	在宅医療・ 介護部会	生活支援・ 介護予防部会	権利擁護部会
1	博多区医師会	○		
2	博多区歯科医師会	○		
3	博多区薬剤師会	○		
4	博多区介護支援専門員ネットワーク(ケアマネット博多)	○	○	○
5	博多区訪問看護ステーション会	○		
6	博多区社会福祉協議会		○	
7	福岡市老人福祉施設協議会(博多区代表)			○
8	博多区自治協議会長会		○	
9	博多区老人クラブ連合会		○	
10	博多区民生委員児童委員協議会		○	○
11	博多区衛生連合会		○	
12	博多区公民館長会		○	
13	福岡県弁護士会(博多区代表)			○
14	福岡県司法書士会(博多区代表)			○
15	認知症の人と家族の会福岡県支部			○
16	博多警察署			○
17	博多消防署	○		
18	博多区保健福祉センター長			
19	博多区担当部長			

2. 各専門部会にのみ所属

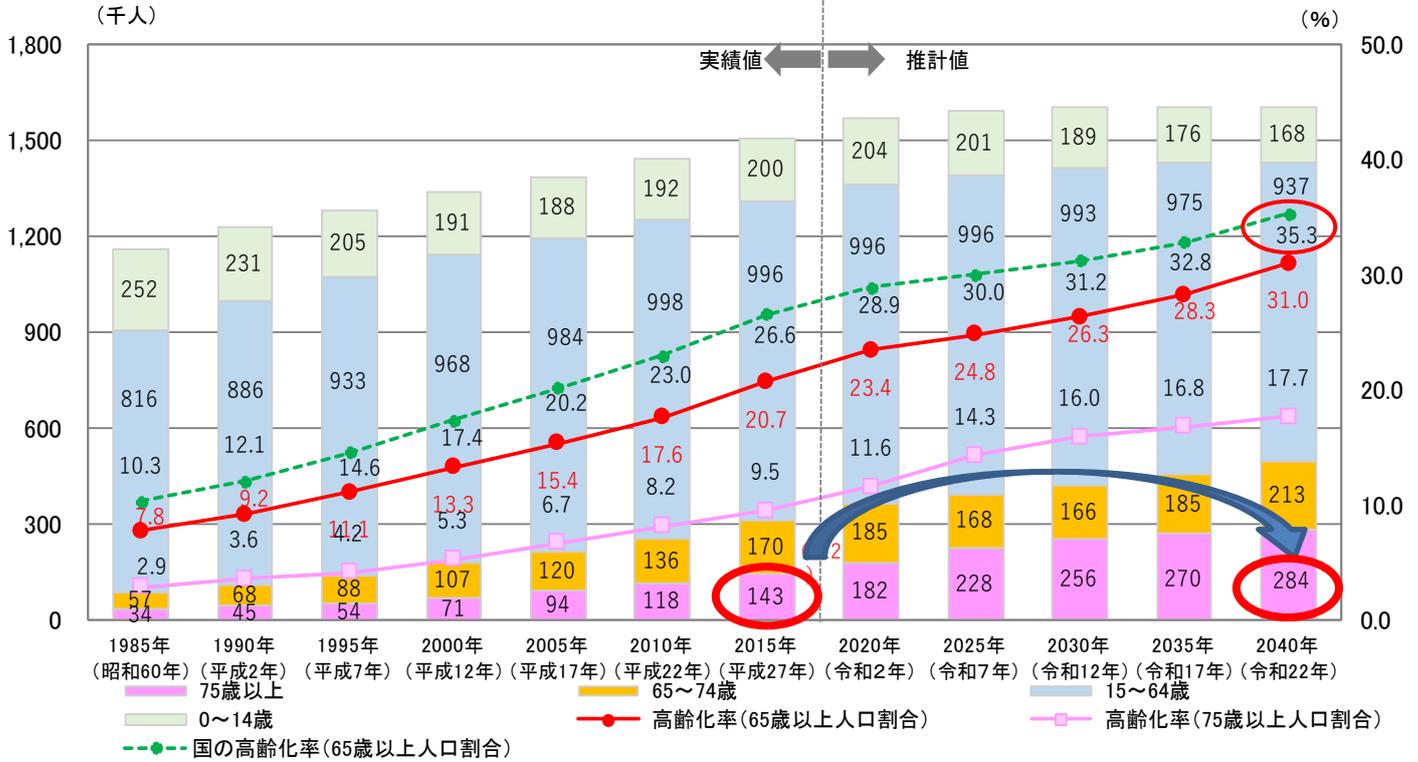
機関・団体名	在宅医療・ 介護部会	生活支援・ 介護予防部会	権利擁護部会
博多区食生活改善推進員協議会		○	
福岡県理学療法士会(博多区代表)		○	
博多区医療ソーシャルワーカー連絡会	○		
博多区事業所ネットワーク(ワンチームHAKATA)		○	
博多区社会福祉協議会事務局		○	○
博多区地域包括支援センター(2包括ずつ持ち回り)	第7・第8	第3・第4	第5・第6

事務局

博多区保健福祉センター地域保健福祉課	地域包括ケア推進係	ネットワーク担当主査	権利擁護担当主査
--------------------	-----------	------------	----------

Ⅰ 福岡市の高齢化と地域包括ケアの推進

Ⅰ) 後期高齢者人口の増加



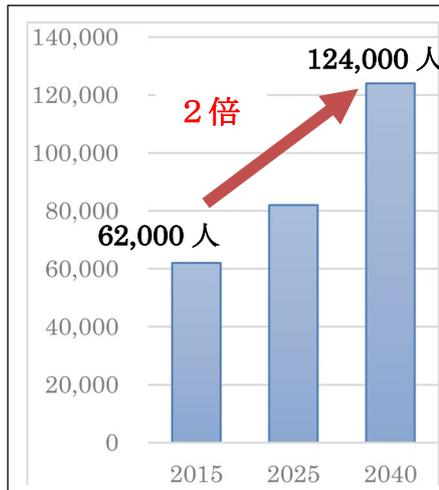
福岡市では向こう20年、後期高齢者の人口が著しく増加する見込み
 ■後期高齢者(2015年) 10人に1人 → (2040年) 5人に1人

2) 後期高齢者人口の増加に連動する動き(2015年→2040年)



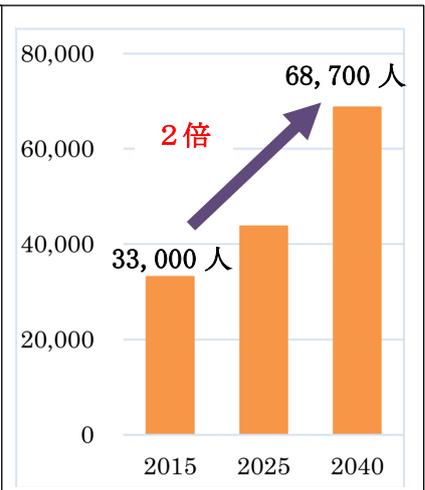
福岡市の75歳以上単身世帯

出典:「国勢調査」,「福岡市の将来人口推計



福岡市の要介護認定者数

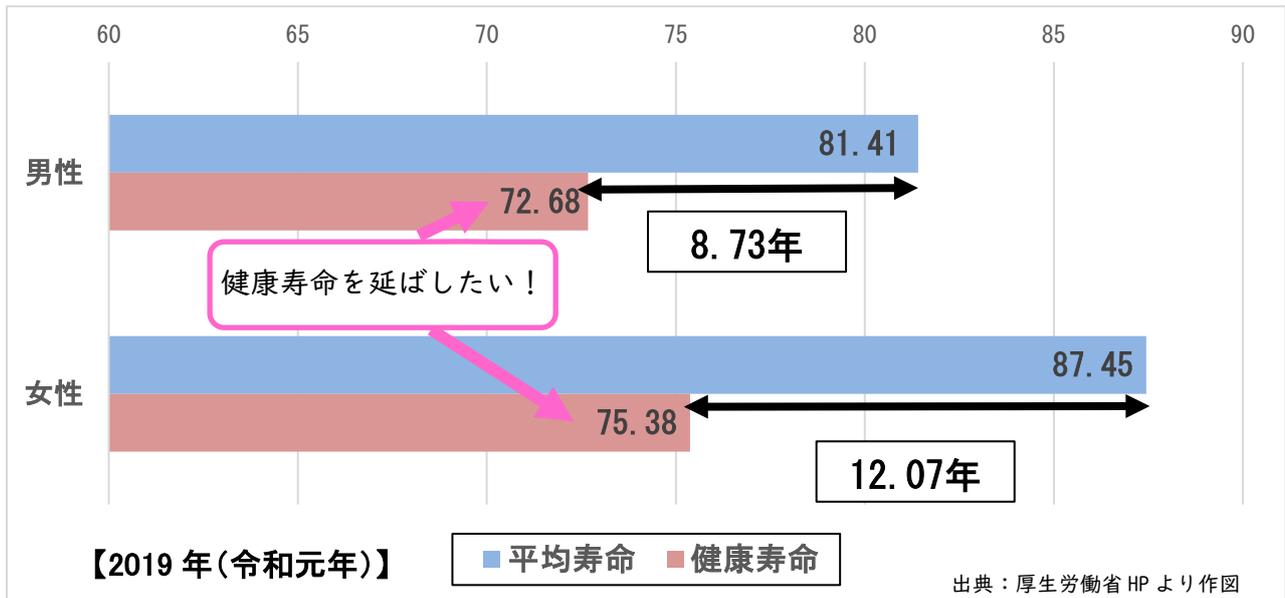
出典:福岡市保健福祉総合計画(R3.3)



福岡市の認知症高齢者

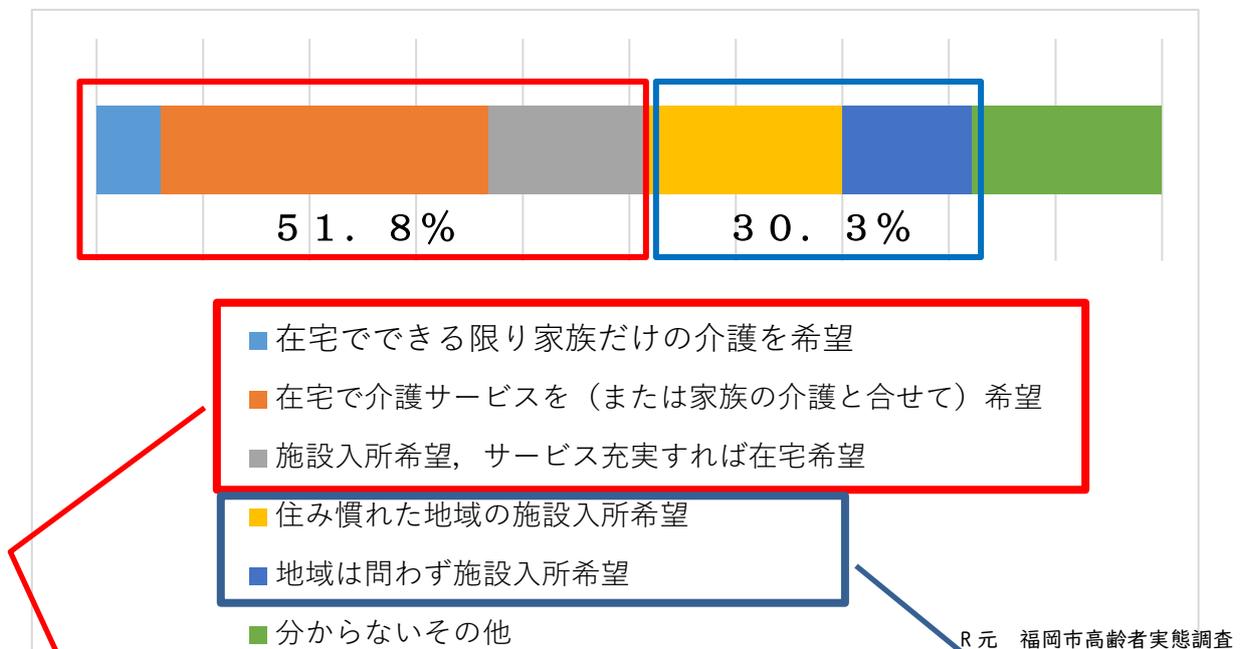
出典:福岡市保健福祉総合計画(R3.3)

3) 平均寿命と健康寿命



- ・健康寿命は「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」
- ・平均寿命と健康寿命の差が短いことが望ましい。

4) 介護を受けたい場所



約半数の方が、在宅での生活を希望されています。

3割の方が、施設入所を希望されています。

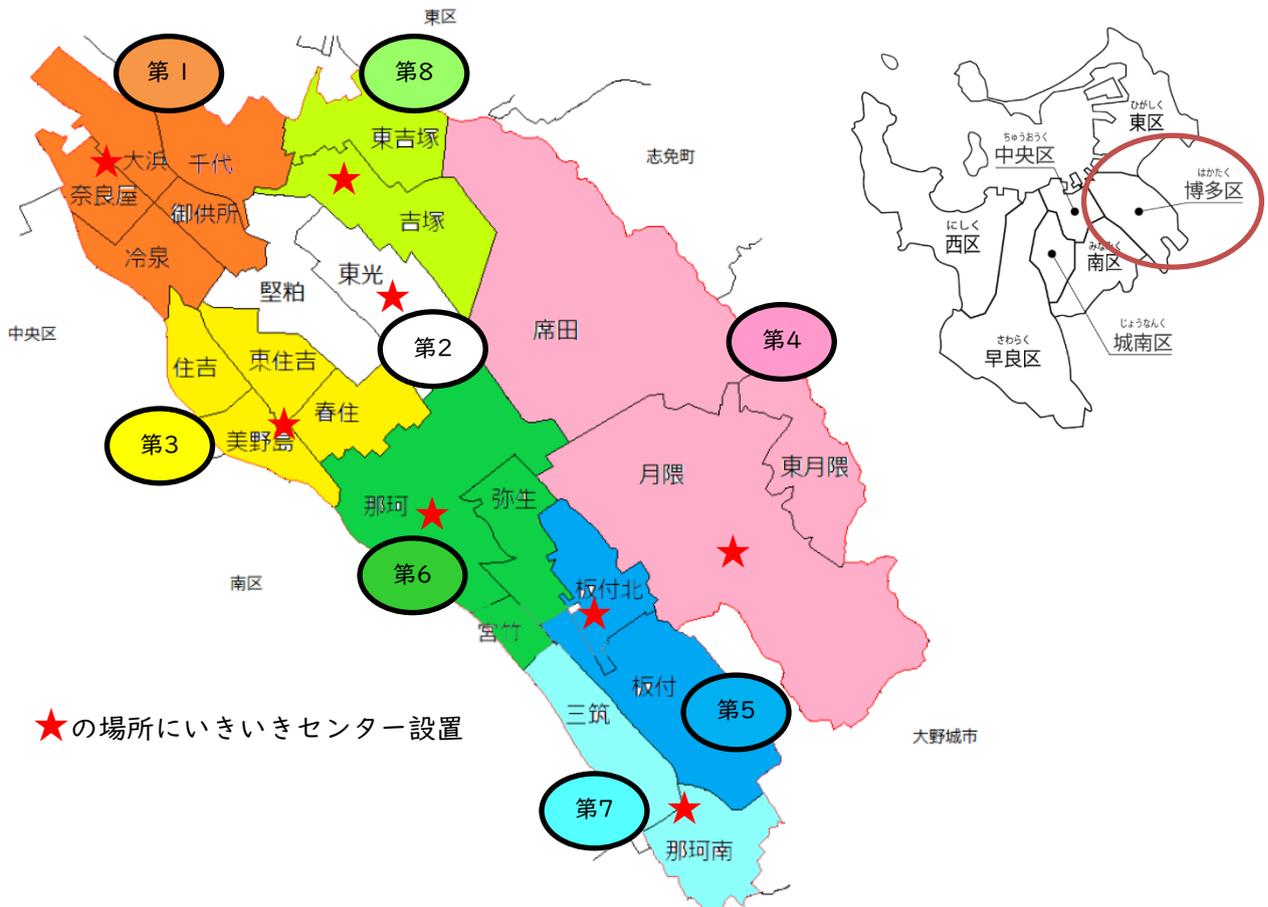
5) 地域包括ケアの推進

「高齢になっても、誰もが住み慣れた地域で人生の最期まで、自分らしい暮らしを安心して送ることができるまちを目指し、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいのサービスが、一体的に切れ目なく提供される」仕組みづくり



出典：福岡市アクションプラン

6) 博多区の地図といきいきセンター(地域包括支援センター)



2 博多区高齢者に関わる統計報告等

1) 博多区の高齢者の状況

①福岡市区別の高齢者人口(R6.3月末現在福岡市住民基本台帳登録人口(日本人))

	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総人口	1,549,847	313,963	231,573	193,790	268,468	126,564	219,276	204,297
65歳以上	354,194	72,517	43,303	37,954	62,545	32,614	55,059	50,562
65歳以上の割合	22.9%	23.1%	18.7%	19.6%	23.3%	25.8%	25.1%	24.7%
うち75歳以上	187,186	38,267	22,674	19,630	33,100	17,354	28,793	27,368
うち75歳以上の割合	12.1%	12.2%	9.8%	10.1%	12.3%	13.7%	13.1%	13.4%

②福岡市区別 65歳以上がいる世帯のうち単身世帯の割合(令和2年国勢調査)

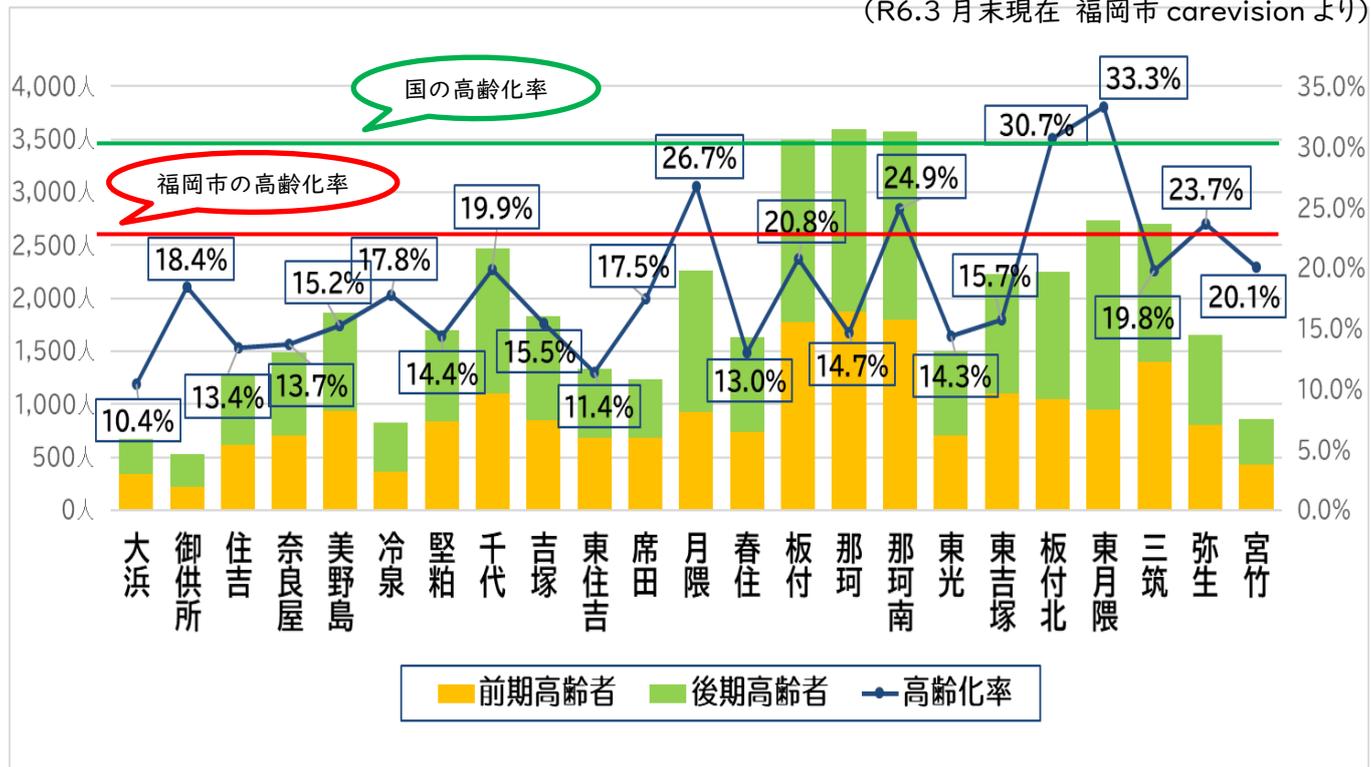
	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
65歳以上がいる世帯(A)	223,683	45,283	28,472	25,002	39,779	20,791	34,157	30,199
65歳以上の単身世帯(B)	81,715	15,726	12,234	10,775	14,397	7,588	12,074	8,921
65歳以上がいる世帯に対する 65歳以上の単身割合(B)/(A)	36.5%	34.7%	43.0%	43.1%	36.2%	36.5%	35.3%	29.5%

③博多区の校区(地区)別・圏域別高齢者割合(R6.3月末現在 福岡市 carevision より)

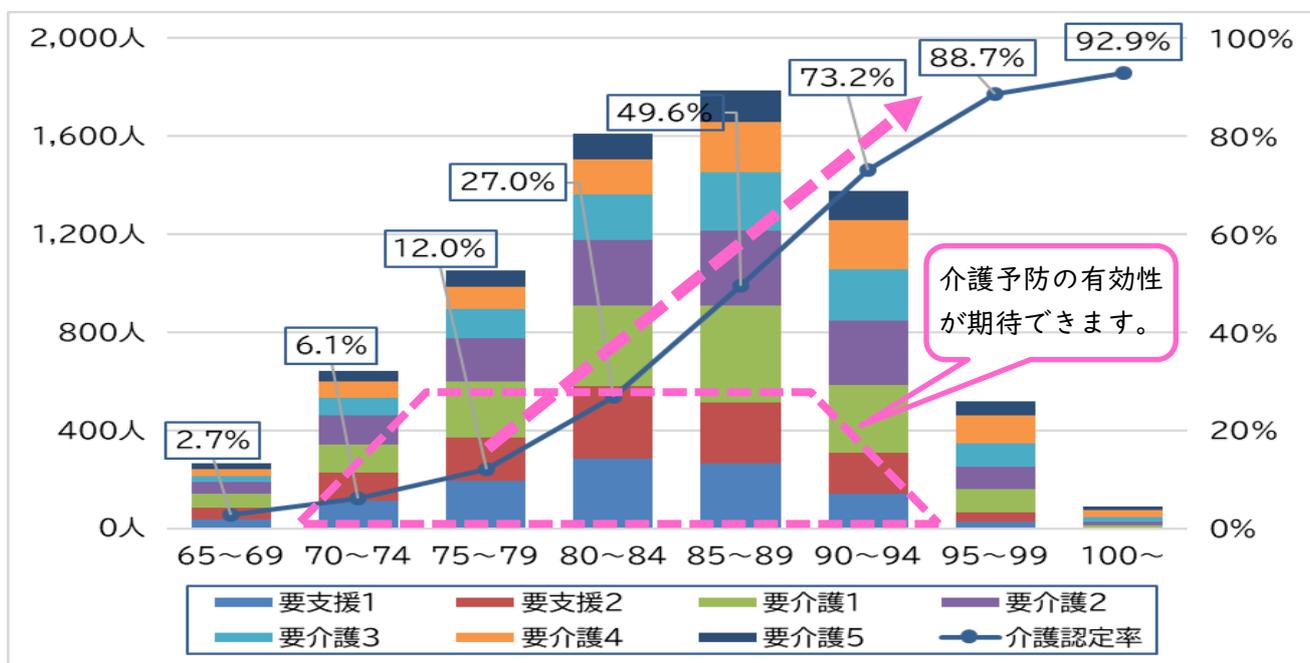
校区別	圏域別				高 齢 化 率 (%)	高 齢 化 率 (%)	高 齢 化 率 (%)	第	第					
	総人口 (人)	高齢者人口(人)		高 齢 化 率 (%)						総人口 (人)	高齢者人口(人)		高 齢 化 率 (%)	第
		(65歳以上)	(75歳以上)								(65歳以上)	(75歳以上)		
千代	12,396	1,098	1,370	19.9%	37,296	2,734	3,260	16.1%	第1					
大浜	6,518	338	339	10.4%										
冷泉	4,671	368	463	17.8%										
奈良屋	10,864	706	787	13.7%										
御供所	2,847	224	301	18.4%										
堅粕	11,835	837	862	14.4%	22,293	1,543	1,656	14.3%	第2					
東光	10,458	706	794	14.3%										
住吉	9,632	618	675	13.4%										
春住	12,531	733	898	13.0%	46,023	2,981	3,134	13.3%	第3					
美野島	12,214	942	919	15.2%										
東住吉	11,646	688	642	11.4%										
月隈	8,451	921	1,336	26.7%										
東月隈	8,210	948	1,783	33.3%	23,747	2,553	3,672	26.2%	第4					
席田	7,086	684	553	17.5%										
板付	16,847	1,771	1,725	20.8%										
板付北	7,327	1,052	1,195	30.7%	24,174	2,823	2,920	23.8%	第5					
那珂	24,443	1,873	1,723	14.7%										
宮竹	4,290	432	431	20.1%										
弥生	6,977	801	851	23.7%										
三筑	13,649	1,403	1,294	19.8%	28,033	3,203	3,072	22.4%	第7					
那珂南	14,384	1,800	1,778	24.9%										
東吉塚	14,204	1,097	1,133	15.7%										
吉塚	11,848	849	984	15.5%	26,052	1,946	2,117	15.6%	第8					

④博多区の校区(地区)別前期高齢者・後期高齢者と高齢化率のグラフ

(R6.3月末現在 福岡市 carevision より)



⑤年齢別要介護認定状況・認定率 (R6.3月末現在 福岡市 carevision より)



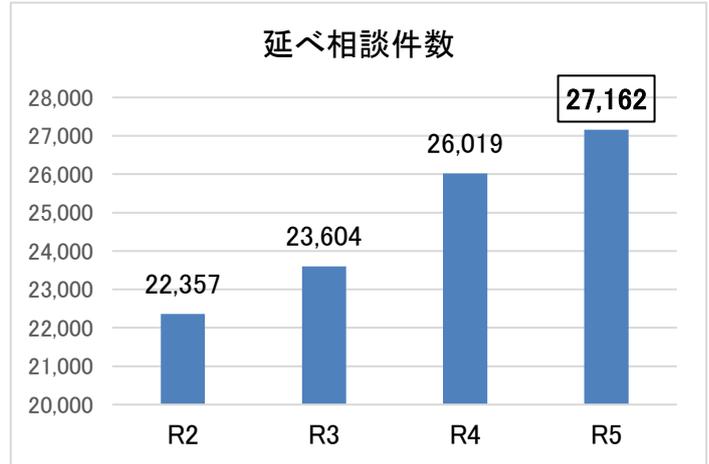
介護認定率は75歳を過ぎると急速に高まっています。

80歳代の介護認定者数が最も多く、90歳以降のほとんどの方に介護認定が必要となります。

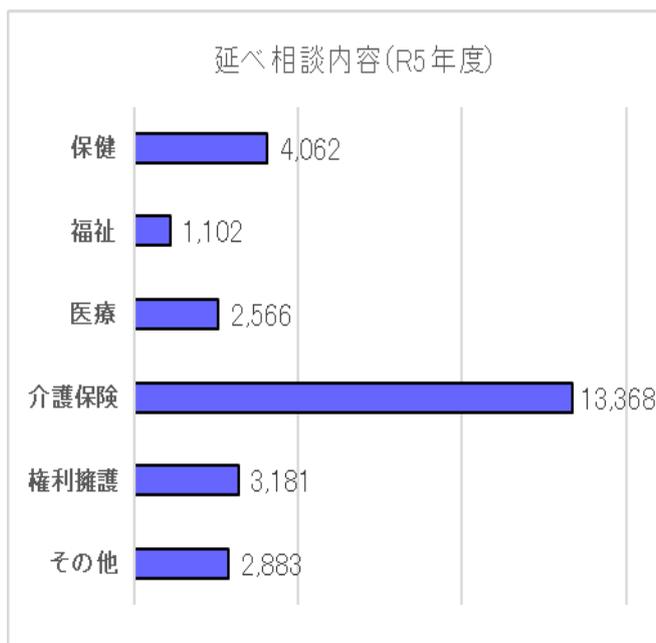
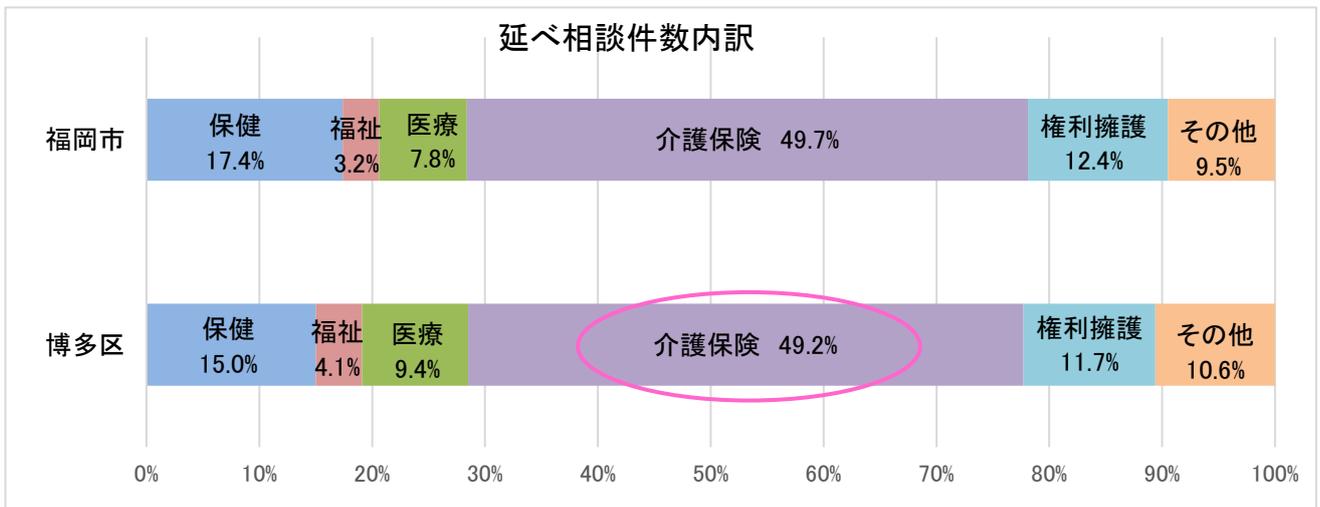
2) 博多区高齢者の相談状況

①相談件数（令和5年度）

	博多区
実相談件数	3,606件
延相談件数	27,162件



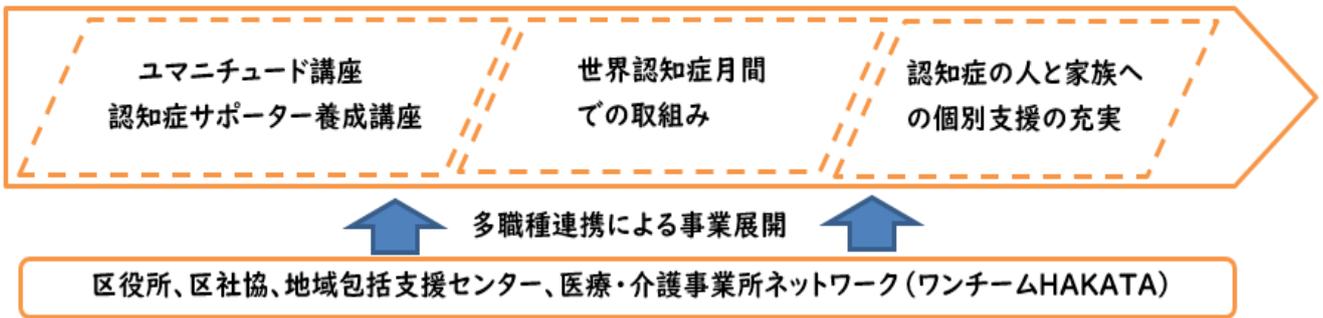
②延べ相談件数内訳（福岡市・区の比較）



【主な相談内容】

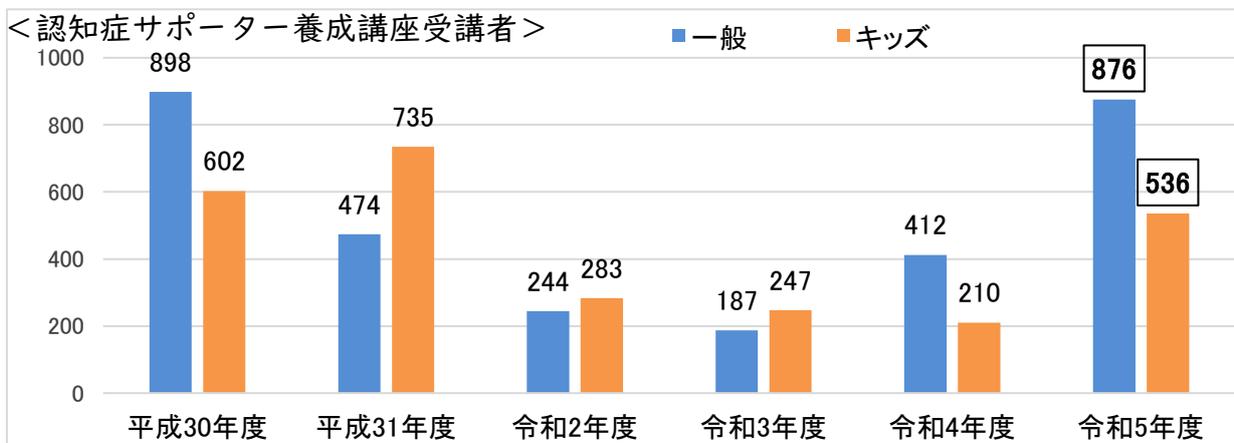
- 保健相談：認知症、健康管理、精神・アルコール相談、介護予防
- 福祉相談：生活困窮・経済問題、在宅福祉サービス
- 医療相談：治療、退院時連携、在宅医療
- 介護相談：介護保険の申請・認定・サービス、ケアプラン・ケアマネ
- 権利擁護相談：虐待、成年後見制度、金銭管理、DV・家庭内暴力

3 博多区の認知症高齢者への取組み



1) 認知症サポーター養成講座

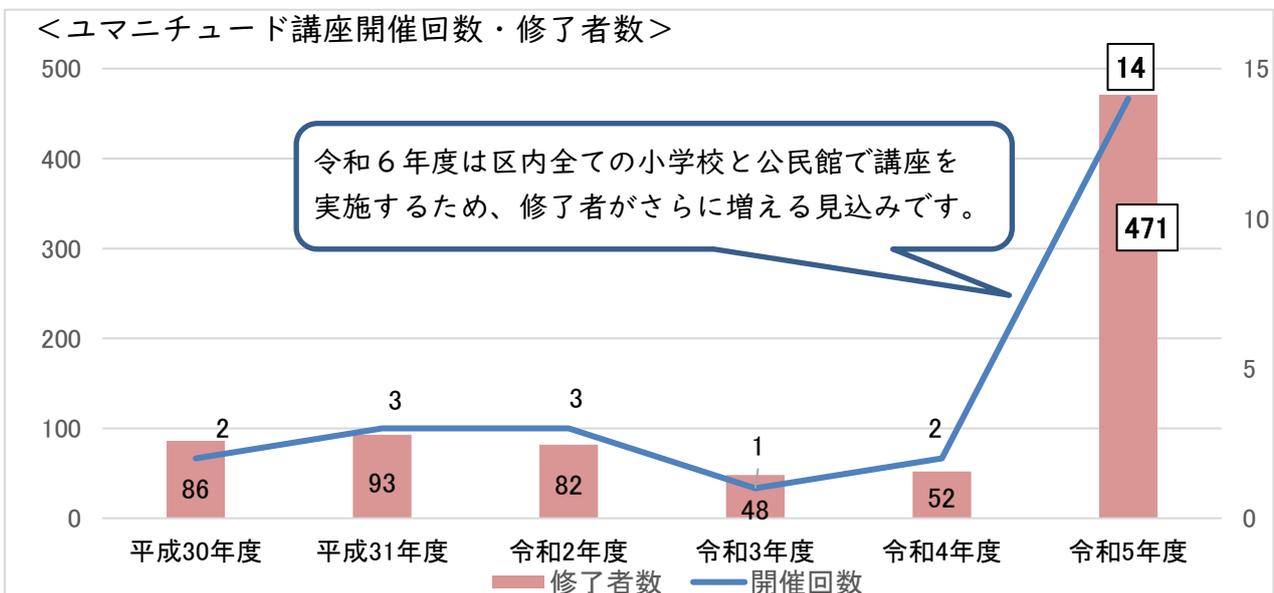
認知症の基本的知識や接し方のポイントについて学び、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」を養成する講座です。



令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少しましたが、令和5年度は以前の水準に戻ってきました。令和5年度の開催数・受講者数は市内最多でした！

2) ユマニチュード®講座

ユマニチュードとは、認知症の人とスムーズにコミュニケーションを図る技法で、相手に自分が大切にされていると感じ、理解してもらえよう伝えるための「見る・話す・触れる・立つ」4つの技術をまとめたものです。



3) 認知症初期集中支援チームによる支援状況

【目的】認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために「認知症初期集中支援チーム※」が認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応につなげる支援を行っている。（平成29年度～モデル事業、平成31年度より全区へ配置）

※認知症初期集中支援チームとは

認知症に係る専門的な知識・技能を有する医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的、集中的（概ね6ヵ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

相談受付数（R5年度）		支援実績（R5年度）			
34	支援該当者	訪問	電話・メール	家族支援	関係機関との連絡調整
	15	145	107	165	468

※支援実績には、電話・訪問時不在対応も含む。関係機関との連絡調整には、会議や啓発活動等も含む。

支援該当者 15名に対して、平均 60 回の支援を経て、医療や介護サービスにつなげています。

4) 認知症高齢者一時保護事業

福岡市内で警察に保護された認知症の高齢者のうち、身元判明、引き取りに時間を要す方で、栄養状態や睡眠など健康上の問題を含め身体介護を要する場合には特別養護老人ホームにおいて一時的に保護するもの。

内容	R3年度	R4年度	R5年度
一時保護件数	0	0	0

5) 認知症の人の見守りネットワーク事業

行方不明になる可能性のある認知症高齢者の方を早期発見・保護するため、また、介護者の負担を軽減するため、警察や地域などの協力のもとにネットワーク事業を行なうもの。

内 容	R3年度	R4年度	R5年度
登録制度登録者数	102	97	127
高齢者捜してメール登録者数	79	68	89



4 博多区の高齢者の虐待防止・権利擁護に関する取組み

1) 虐待防止に関する取組み

高齢者の虐待に関する通報・相談を受付け、コア会議を開催し、虐待の判断を行う。

虐待事例・処遇困難事例進捗管理会議を開催し、問題点の整理や今後の支援方針の検討を行う。

①虐待と判断したケース (R5年度速報値)

相談・通報等対応件数 (件：実数)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
全市	291	311	347	417	505
博多区	37	36	42	50	68

被虐待者性別 (人)

	男性	女性	計
全市	38	108	146
博多区	5	16	21

虐待の種別・類型 (複数回答)

	身体的	放任・放棄	心理的	性的	経済的	累計
全市	106	25	57	1	18	207
博多区	14	2	9	1	5	31

虐待者 (複数回答)

	夫	妻	息子	娘	息子の配偶者	娘の配偶者	兄弟姉妹	孫	その他	計
全市	38	15	50	27	3	0	6	3	10	152
博多区	8	1	6	4	0	0	2	0	1	22

②被虐待高齢者一時保護事業

養護者からの虐待により、生命または身体に重大な危険が生じるおそれがあると認められる高齢者を老人福祉施設等に一時的に保護し、高齢者の安全を確保することを目的とするもの。

令和4年11月から施行された。

内容	R3年度	R4年度	R5年度
一時保護件数	0	0	0

2) 成年後見制度支援事業

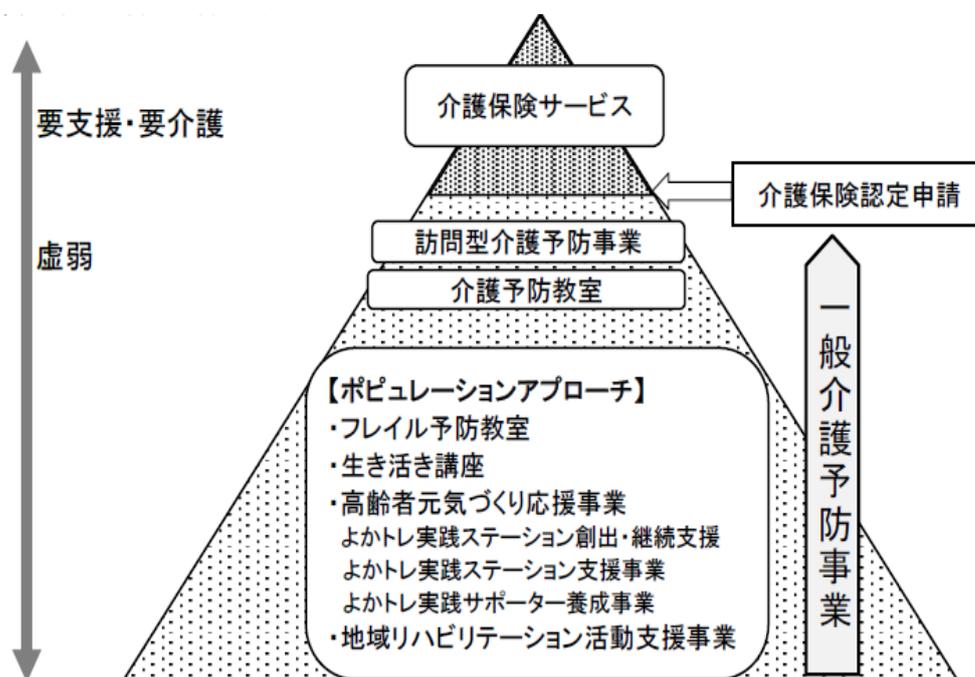
身寄りのない認知症高齢者などについて、市長が後見開始などの申し立てを行うことにより、後見人による財産管理や身上監護などの支援を行う。

内 容	R3年度	R4年度	R5年度
成年後見制度に関する相談件数	381	606	834
市長申立件数	6	6	11

5 博多区の介護予防に関する取組み

高齢者が要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、健康づくり・介護予防の知識の普及啓発を行う。

事業名	内容	実施数
フレイル予防教室	フレイル予防を目的とした講座や運動等のプログラムを実施する。	10回 152名
生き生き講座	健康づくり・介護予防をテーマとした講座を地域へ出向いて実施する。	289回 4,539名
オーラルフレイル予防にむけた取組み	区歯科医師会と協働でリーフレットを作成し、全校区でオーラルフレイル予防教育の開催を目指す。	49回 835名
地域リハビリテーション活動支援事業【委託】	介護予防に取り組む団体に年1~2回理学療法士等を派遣し、運動等に関する知識の提供、体力評価等を行う。	1回 8名
訪問型介護予防事業	閉じこもりがちな高齢者等を対象に、家庭訪問により介護予防や生活習慣病予防についてアドバイスを行う。	1ケース 5回
介護予防教室【委託】	自宅でできる運動を中心として、口腔や栄養等のフレイル予防に関するプログラムを実施する。	45回 298名



6 その他の博多区の実践

1) 在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた実践等

	取組み	具体的内容
医師会共催	多職種連携研修会	【テーマ】 ①在宅から始める ACP (65 名参加) ②在宅医療における看取りの実践 (82 名参加) ③急性期病院における退院支援 (62 名参加)
	多職種連携会議	【医師・薬剤師・歯科医師・コメディカルによるグループワーク】 テーマ「独居の人に対する多職種連携」 (58 名・参加会場の都合上、定員制限あり)
	地域包括ケアシステム フォーラム	【講師 3 名による市民向けフォーラムの開催】 テーマ「終活ってなあに？」(59 名参加)
職能団体	①ケアマネット博多	①役員会、総会、定例会を開催。(3 回 242 名) 研修会「ケアマネジャーのリスクマネジメント」 「在宅医療とのさらなる連携において」
	②博多区訪問看護ステーション会	②定例会、交流会を開催。(3 回 46 名) 研修会「高齢者の排泄ケア」
	③博多区 MSW 連絡会	③交流会、情報交換会を開催。(2 回 44 名)
ネットワークづくり	①圏域毎の事業所ネットワーク定例会	①各事業所ネットワークが定例会を開催し、活動状況の共有や今後の事業展開を協議する。(24 回 353 名)
	②ワンチーム HAKATA 世話人会	②事業所ネットワークの連合体「ワンチーム HAKATA」の世話人による情報共有や後方支援を行っている。(5 回延 86 名)
	障がい者支援機関との ネットワークづくり	年 2 回開催 (障がい者基幹相談支援センター、地域包括支援センター、障がいサービス事業所など)
	校区情報交換会	年 2 回開催。 地域支援課、校区担当保健師、地域包括支援センター、社会福祉協議会が、校区(地区)の実情や住民ニーズに沿ったより良い支援を行うための意見交換会を実施。

2) 地域ケア会議

「高齢者個人に対する支援の充実」と「それを支える社会基盤の整備」を目指すことで、地域包括ケアシステム構築に向けた取組みを進めている。

各会議で抽出された課題・意見	
区レベル	<p>【地域包括ケア推進会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療の推進のための医療・介護の専門職の連携づくり 健康寿命延伸を目指し、オーラルフレイル予防、ロコモフレイル予防への取組み 災害への備えのために事業所や職能団体の体制づくりと、地域と連携した対応可能な体制づくりが大事。 <p>【在宅医療・介護部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身寄りのない単身高齢者の意思を尊重した支援のあり方 ACPの普及・啓発 ・多職種連携の推進 <p>【権利擁護部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 権利擁護に関する事業の体制強化と推進 <p>【生活支援・介護予防部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所ネットワークを含む分野横断的地域活動の推進 高齢者の健康づくりのための公民館等身近な場所での活動拠点の充実 フレイル予防の取組み ・地域の担い手不足 ・次世代ニューリーダーの育成
中学校	<p>【圏域連携会議】（R5年度6回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 多世代に向けた認知症啓発活動の展開 8050問題・引きこもりの子を抱える高齢者への支援
小学校	<p>【高齢者地域支援会議】（R5年度41回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員とケアマネの交流会 ・インフォーマルサービスの検討 在宅におけるACPへの取組み ・消費者被害防止研修
個別	<p>【個別支援会議】（R5年度70回開催）以下開催の結果（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> 70件中36件は単身世帯。 周囲の困り事は介護負担、虐待・権利侵害、キーパーソン不在が多い。 本人の課題は経済困窮、低栄養、運動機能低下が多い。



強化した取組み等
<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携研修会で「オーラルフレイル予防研修」 ○災害の備え（BCP等）に関する情報共有 ○職能団体による意見交換会の開催（R6.12月予定） ○権利擁護等担当者の増員 ○多職種による「気づき・つながる」研修（権利擁護部会） ○ユマニチュード講座の区内全小学校・全校区公民館での展開

7 意見交換

- ・ 委嘱委員（各所属団体）からの活動報告
- ・ 博多区の実践に関するご意見・ご提案等
- ・ 福岡市レベルで検討が必要と思われること

【発表内容の一例】

- ・ 単身高齢者や認知症の方への支援体制や連携について
- ・ 医療と介護の多職種連携のための体制強化について
- ・ 高齢期や緊急時の備えやサポート体制について
- ・ 医療と介護の連携のために考えられる ICT の活用について
- ・ 地域の担い手不足や後継者育成のための取組み
- ・ 健康づくり・介護予防の啓発や場づくり
- ・ 高齢者の権利擁護のために必要な取組み など

○ メモ ○